

みんな

6年3組 学級新聞
「みんな」第23号
2016.7.20発行



着衣泳をしました

命を守るためには泳がずに待つこと

一九八八年七月、神奈川県横須賀市沖で海上自衛隊の潜水艦「なだしお」とつり船「第一富士丸」が衝突して、三十人の犠牲者を出すという大きな事故が起きました。この犠牲者の中には、長野県のある若い女性がいまいました。衝突した直後は、この女性の泳ぐ姿を見ている人も数人いました。彼女は水泳クラブに入っており、泳ぎには自信があったようです。救助を待って助け出された人たちの中には「あの岸なら泳いでたどりついているものかと思ってい」と言う人もいました。

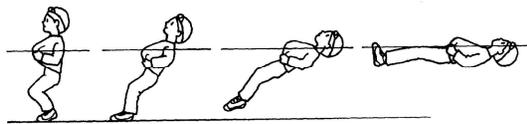
しかし、翌日、水死の状態で見つされたのです。彼女は泳ぎ疲れて果てたのでしよう。事故の起こった地点が、横須賀港から3kmの地点だったので、泳げると思っていたのでしょうか。泳げるといふ過信が命を落とすことになるなんて何と悲しいことでしょうか。

海で遭難(そうなん)した場合、クロールや平泳ぎで泳いでダメです。服を着たら重くなって、体にまとわりついてしんどくありません。それでは、どうしたらよいのでしょうか？まず、漂流物を見つけてつかまります。たつたペットボトル一個でも体が浮くのです。それがなかったら、体力を消耗しない背泳ぎで浮いてみるのです。海は塩水なので背泳ぎなら浮きやすいのです。

そして、ただひたすら救助を待つことが大切です。泳ぎに自信があるからと言って泳いでダメなのです。海には波がありまします。プールで泳いでいる場合とはまたちがいます。命を守るためには、泳がずに救助を待つことが何よりも大切です。それには背泳ぎが適しています。

着衣泳の授業

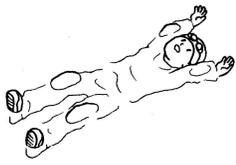
授業では、背泳ぎの方法、エレメンタリーバックストロークなど、おぼれたときの浮き方、泳ぎ方などについて学習しました。



服に空気をためて浮く

- ①クロールや平泳ぎで泳ぐ。
- ②背泳ぎの方法
- ③背泳ぎの状態に服に空気をためる。
- ④ペットボトルを持って浮く。
- ⑤スニーパーの袋に空気をためて浮く。
- ⑥エレメンタリーバックストローク
- ⑦うずまきを作って漂う。
- ⑧救助の方法を知る。

背中から飛び込み背泳ぎになる。ペットボトルを投げてもらう。浮いてエレメンタリーで移動する。



服を着てプールに入ると泳いだところ、服がまとわりついて泳ぎにくいようでした。クロールや平泳ぎで泳いでみましたが、なかなか前に進まず、つかれてしまいました。

しかし、泳ぐことをせず、体の力をぬくと反対に浮くのです。服に空気をた



ペットボトルで浮く

めると浮き袋になります。おなかに空気をためて上手に浮いている人もいました。服を着て泳ぐことの難しさをみんなははじめて感じたと同時に、服を着ていけば、工夫次第で浮くことができるということも同時に知ったのではないのでしょうか？さて、これまで、学習してきたエレメンタリーバックストロークは、今の背泳ぎができる前の泳ぎでした。背泳ぎは元々は人命救助のために考え出された泳ぎであり、おぼれた人を一方の手でかかえて泳いでいたようです。それが、時代を経て、速さを競うための背泳として泳がれるようになった一方、現在でもエレメンタリーバックストロークは人命救助の泳ぎとして、世界中で泳がれています。



ペットボトルに少し水を入れてプールに投げこむ必ず友だちのいない所に投げる

△授業の感想から▽ 7/19

・服を着て泳ぐのはとても難しかったです。体が重く感じました。足が動かずととても難しかったです。(山下)

・着衣泳では水着で泳ぐよりもとても泳ぎにくくて、プールサイドに上がるときは、とても重かった。服は水を吸うことが分かった。(麦林)

・最初は、服を着て泳ぐのは簡単だと思っていたけど、クロールはかいてもかいてもなかなか進まず、おぼれるくらいしんどかったです。(大城)

・服を着ていると、泳ぎにくかった。もしも海で事故とかにあったら、漂流物につか

まって助かるまで待つとか、浮いておく方がいいと思った。(牧野)

・初めて着衣で泳いで、平泳ぎが難しかった。ペットボトルで浮いてみると、エレメンタリーバックストロークがきれいにできた。(今西)

・服を着て泳ぐのは、とてもつかれるし、重たかったです。また、おぼれたときは、泳ぎが得意でも泳がないで、じっとうくとすることも教わり、とてもよかったです。(小林)

・服を着ると、重くて、クロールで泳ぐと、くつがぬげるくらい難しかったです。ふくろに空気を入れると、すごく浮いた。(山田)

・服を着て泳ぐと、フードがすごく重くなり、首が苦しくなったので、それくらい服を着たまま泳ぐのは大変だと分かりました。(牧)

・服を着て泳ぐと、すぐ泳ぎにくいというところがよく分かりました。また、海などでおぼれそうになったときは、どうしたらいいのかが分かりました。(中尾)



・服を着て泳いでみると、思った以上に体が全く浮かなかったです。ペットボトルを持って泳ぐと、すごく浮いて、泳ぎやすかったです。(青谷)

・服を着て、ドル平やクロールで泳ぐと、ドル平はしんどく感じましたし、クロールはあまり前に進まなくて、泳ぎづらかったです。(青山)

・服に空気を入れて、空気をためて浮くと、服などで動きにくくても、浮けるということが分かった。(根来)

・服を着て泳ぐのはとても難しかったです。でも、ペットボトルやふくろを使うと、浮きやすかったです。(梶原)

・初めて服を着て泳いだ時は、服が重くて泳ぎにくいことがわかった。また、ペットボトルを持って泳ぐと、とても浮くことがわかった。(高谷)

・ちょっとおなかを上げたら浮けた。空気を入れて浮くのと、ふくろに空気を入れて浮くのはできた。いつもより背泳ぎがやりやすかったです。(中内)

